

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4RF-2202
研究課題名	特定外来生物クビアカツヤカミキリの新たな定着地の早期発見・早期駆除システムの開発
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	森林研究・整備機構
研究代表者名	田村繁明

1. 評価結果

評価ランク：B

2. 委員の指摘及び提言概要

和歌山県周辺を中心とした現地調査、遺伝子解析、行動実験など多面的な手法を用いて、侵略的外来種クビアカツヤカミキリの早期防除に取り組んだ。サブテーマ2ではハイリスク地域の特定に成功し、重点的な対策地域の設定が評価された。一方、サブテーマ1ではSSRマーカーの開発は進んだが、集団解析には至らず、mtDNAによる解析も精度に限界があり、単一起源の結論にはさらに検討を要する。サブテーマ3ではフェロモン誘引による薬殺実験が期待通りに進まず、種特異的な誘引物質の特定にも至らなかった。分布拡大解析には数理モデルの活用が不十分で、全国的なデータ収集が必要とされる。今後は、アウトカムの実施、原著論文の発表、自治体や企業との連携強化、モニタリングデータを用いた効果検証が求められる。成果は一定の評価を得ているが、より汎用性の高い技術への発展が期待される。